

【アイドリングストップ支援機器 別紙1 記載例】

上限台数：1事業者、5台(枚)まで

※各記入事項をみれなく記入してください。

受付窓口にて記入。

請求明細書に記載されている金額(税抜き)単価をそれぞれ記入。

国の補助制度を受けているときは“有”に○印。
※“有”の場合は全ト協分の補助対象外です。

補助金額の計算について
1,000円未満切捨。各機器種類による補助上限金額有。

No. 1 蓄熱マット等 対象額15,000円の場合

東ト協のみ = (15,000 × 1 / 2 = 7,500円) 7,000円
蓄熱マット等 1 / 2 額か、上限15,000円の低い方

No. 2 蓄熱マット等 対象額33,000円の場合

東ト協のみ = (33,000 × 1 / 2 = 16,500円) 15,000円
蓄熱マット等 1 / 2 額か、上限15,000円の低い方

No. 3 エアヒータ 対象額171,000円の場合

全ト協のみ = (171,000 × 1 / 2 = 85,500円) 85,000円
Iヒータ等 1 / 2 額か、上限120,000円の低い方

No. 4 車載バッテリー式冷房装置 対象額250,000円の場合

全ト協のみ = (250,000 × 1 / 2 = 125,000円) 120,000円
車載バッテリー式冷房装置
1 / 2 額か、上限120,000円の低い方

補助金合計額を記入。(【様式1】1. 請求金額と同じ額)

別紙1

アイドリングストップ支援機器 車両別請求内訳

平記 載 不 月 要 日

会社名 株式会社 ☆☆輸送

導入営業所名 本社営業所

No.	アイドリングストップ支援機器導入機器内容					装着車両内容		
	導入機器 (該当機器を○印で囲む)	メーカー名 機器名(型式)	補助対象経費 本体購入価格 (税抜)	トラック協会 請求金額(円)	導入日	国の補助 制度利用 有無 (注1)	車両型式 (PK-, BDG-等)	登録番号
1	蓄熱マット等	A社 あったかマット (SW-EP3)	15,000	7,000	H24.6.4	有 ○無	PB	品川100あ △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
2	蓄熱マット等	B社 ホットマット (HOK-AB)	33,000	15,000	H24.6.26	有 ○無	PA	品川400い △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
3	蓄熱マット等	C社 エアヒータ (K-34Z)	171,000	85,000	H24.7.7	有 ○無	ADG	品川100い △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
4	蓄熱マット等	D社 バッテリー式クーラー (626E)	250,000	120,000	H24.7.20	有 ○無	PKG	品川100か △△△△
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
5	蓄熱マット等	機器対象のメーカー名・機器名、型式を記 入する。				有 ○無		
	エアヒータ							
	車載バッテリー式冷房装置							
計			227,000	注1) 国の補助を受けた場合、全ト協補助分は対象外。				

該当の機器の種類を○印で囲む。

機器対象のメーカー名・機器名、型式を記

※ 機器は1社5台(枚)まで。また、車両1台につき1台(枚)まで。

◎エアヒータ・車載バッテリー式冷房装置の補助を受ける場合は“別紙 誓約書”を添付してください。